

1. 選んだ本の書誌情報

服部茂幸『偽りの経済政策 格差と停滞のアベノミクス』岩波新書、2017 年

2. 目次

- 第一章 低成長が続く日本経済
- 第二章 雇用は増加していない
- 第三章 デフレ脱却という神話
- 第四章 広がる格差
- 終章 アベノミクスとポスト真実

3. 著者紹介

1964 年 大阪府生まれ
1988 年 京都大学経済学部経済学科卒業
1996 年 京都大学博士(経済学)
現在 同志社大学商学部教授
専攻 理論経済学(マクロ経済学、金融政策)

著書 『アベノミクスの終焉』
『新自由主義の帰結 なぜ世界経済は停滞するのか』
『危機・不安定性・資本主義 ハイマン・ミンスキーの経済学』
『日本の失敗を後追いするアメリカ 「デフレ不況」の危機』

4. 選定理由

- ①アベノミクスによって企業が回復するのか
- ②アメリカ経済とどのような関係があるのか
- ③アベノミクスと中央銀行の後退との関係について
- ④アベノミクスの効果とは
- ⑤日本の低成長は世界経済の影響なのか
- ⑥アベノミクスとデフレ脱却はどう関係しているのか
- ⑦デフレ脱却に必要なこととは
- ⑧本当にアベノミクスによって雇用が増加したのか
- ⑨アベノミクスによって労働生産性が上昇しなかったのはなぜか
- ⑩アベノミクスを始める前に三つの停滞が起こることを予測できなかったのはなぜか